

【岩手県立大槌高等学校】

事業構想

「大海を航る大槌（ハンマー）を持とう」を実現し、
「学ぶことが楽しい」「もっと学びたい」と思う
魅力的な学びの環境を地域と共に創る

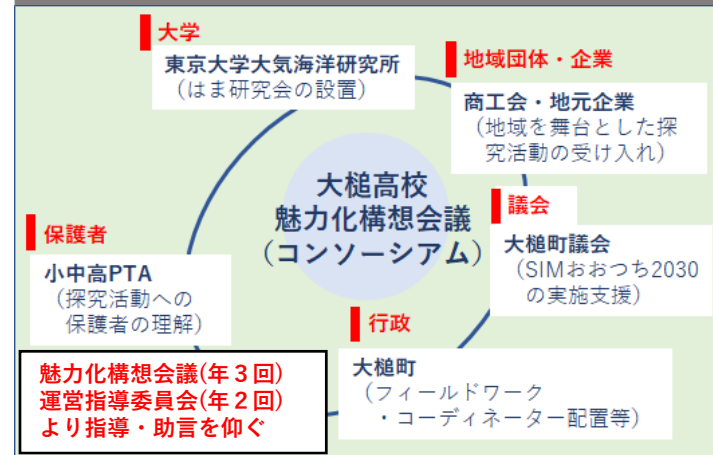
事業目的

- ・多様な学びを保障する個別最適化されたカリキュラムの実現
- ・復興を担う人材の育成、社会教育の拠点としての高校の実現

特色・魅力ある教育の概要

- ①生徒自らが選択・調整できる学び
- ②地域社会を舞台に学ぶ実践的な問いからはじまる
- ③放課後等の学校外に広がる探究的な学び
- ④個別最適ナリメディア教育の実践

関係機関との連携・協働体制の構築方法



令和4年度の目標

①新学科開設に向けて校内体制の整備

ア) 学び続けることの意義を実感でき

るカリキュラム開発

イ) ICTを活用した教育方法の検討

ウ) 地域に向けた高等学校の取組につ

いての周知

②地域を題材とした探究の実践と充実

③先進校事例の収集と情報交換の実施

④コーディネーターの有機的活用

取組状況

①全教員からなる3つのワーキンググループ(WG)設置



②地域を題材とした探究の実践と充実

・「三陸みらい探究」、学校設定教科の「地域みらい学」の深化を図った。

③先進校事例の収集と情報交換の実施

・全国の12校と交流を深めた。

④コーディネーターの有機的活用

・探究の企画、会議運営等あらゆる事業の推進役として、地域協働を推し進めた。

成果と課題

①全教員からなる3つのワーキンググループ(WG)設置

成果：全教員が事業に主体的に関わる体制づくりの構築（全体）
生徒・保護者・地域の声を反映させたカリキュラムの検討（カリキュラム）
改革の方向性の明確化（カリキュラム）

ICTを活用した研究授業の実施、校務の効率化（DX）
探究発表会や取組展示等を通して、地域への活動周知（周知・広報）
課題：教員異動に伴う教員間の温度差を埋めるための円滑な取組の継承（全体）
カリキュラム完成に向けた関係機関との調整（カリキュラム）
実証振り返りと個別最適化を目指す授業の提案（DX）
中学生や保護者が新学科に関する理解を深め、魅力的なものと感じられるような周知方法の検討（周知・広報）

②地域を題材とした探究の実践と充実

成果：地域社会に暮らす人々と協働することで、自らの人生を切り拓こうとする生徒の増加
課題：地域課題がなぜ生じているかその背景について考える

③先進校事例の収集と情報交換の実施

成果：多くの学校と探究活動、教育課程、地域連携等について意見交換を行い、本校の教育活動にいかせた
課題：他校交流をさらに深め、先進校研究の進展

④コーディネーターの有機的活用

成果：探究カリキュラムの充実、地域と学校を繋ぐ役割を担った
課題：事業終了後も継続配置できる予算措置とコーディネータースキルの教員への伝達

⑤高校魅力化評価システムの調査結果

成果：社会性に関わる項目が県平均を大きく上回り、魅力的な学びの環境を地域と共に創ると
いう事業構想の具現化を確認

課題：詳細を検証し、今後にかす